

| 測定する能力   |   |
|--|---|
| 漢字・語彙力   | 論理的言語力  |
| 漢字や語彙を使いこなす力。漢字を使って論理的な文章を組み立てる力。  | 日本語を論理的に扱う能力。一文の構造を論理的につかまえたり、「ことばのつながり」を指示語・接続語などを論理的に扱う力。 |
| 論理的読解力   | 論理的思考力  |
| 文章構造を論理的に解説する力。文と文との論理的関係、段落と段落との論理的関係、文章全体の論理構造を把握する力。趣旨を的確に把握し、小説などを客観的に読む力。 | 文章の要点を論理的に整理し、まとめる力。論理的に説明する力。おもに記述力・論述力。                   |
| 論理的表現力   |   |
|  | 他者に向かって、論理的に話す力。論理的に思考し、自分の考えを論理的に書く力。                      |

\*\*\*

《問題Ⅰ》漢字・語彙力

(80点)

●解答

第一問

- (1) 姉 (2) 才 (3) 弟
- (4) 春 (5) 雪 (6) 冬
- (7) 算数 (8) 科目 (9) 音楽
- (10) 魚

第二問

- (1) 助言 (2) 自立 (3) 親友
- (4) 理由 (5) 商品 (6) 車庫
- (7) 期待 (8) 悪気 (9) 安物
- (10) 研究

第三問

- (1) ぶ (2) せつ (3) やしろ
- (4) き (5) ばいてん (6) ようす
- (7) いき (8) しんじつ (9) しょじ
- (10) こうたい

第四問

- (1) 国語の 宿題が 出た。
- (2) こんな しつぱいを するなんて 面目 ない。
- (3) 君の 言い分は 次元の ちがう 話だ。
- (4) 会話が はずんで 時間が たつのを わすれた。
- (5) 兄に かりた ノートが 見やすくて 感心した。

■配点

- 第一問 各2点 第二問 各2点
- 第三問 各2点 第四問 各4点

◆解説

第一問

文脈から、意味を考えさせることが大切です。

(1)(2)(3)は、年が上なのが「姉」で、下なのが「弟」だと理解できたかです。

(4)(5)(6)は、季節感が分かるかどうかです。桜が咲くのは春で、雪がふるのが冬です。

(7)(8)(9)は、べんきょうの科目が理解できたかです。

(10) 選択肢の中で、食べる事ができるのは、「魚」しかありません。

第二問

小学二・三年生レベルの漢字です。文脈から、意味を考えるようにしましょう。

(1) 直前の「に」とつながる言葉を選びます。

(2) 「した」につながる言葉で、「大人」と関係のある言葉を選びます。

(3) 「ようちえんからの」とあるので、「シ」が「シキ」は×。

(4) 「しつぱいの由来」とは言いません。

(5) 買えるものは何かを考えます。

(6) バイクをしまうのはどこか。

(7) 「して」とつながる言葉で、さらに「君には」とつながる言葉を考えます。

(8) 悪意があったわけではないこと。「悪気」という言葉の意味を理解できたか。

(9) 安いものばかり買うと、結局は損をしてしまうこと。

(10) 「学習」と「研究」の違いが分かったか。

第三問

小学二・三年生レベルの漢字です。

(1) 「父」を「ぶ」と読めるか。

(3) 「社」の訓読み。

(6) 「様」を「さま」ではなく、「よう」と読めるか。

(10) 「代」を「たい」と読めるか。

第四問

「主語と述語」「言葉のつながり」を考えます。

(1) 主語が「宿題が」、述語が「出た」。「国語の」↓「宿題が」。

(2) 「面目ない」という慣用表現が分かるかどうか。「こんな」↓「しつぱいを」↓「するなんて」。

(3) 「言い分は」が主語で、「話だ」が述語。「君の」↓「言い分は」「次元の」↓「ちがう」↓「話だ」。

(4) 「会話が」↓「はずんで」、「時間が」↓「たつのを」と、主語と述語の関係を考えます。

(5) 「(私は)」↓「感心した」が全体の主語と述語ですが、主語は省略されています。他に、「兄に」↓「かりた」、「ノートが」↓「見やすくて」と、主語と述語の関係があります。「かりた」↓「ノートが」とつながります。

\*\*\*

《問題Ⅱ》論理的言語力

(20点)

●解答

第一問 荷物を持つ。 手をあげる。

雲が晴れる。

第二問 (1) まるい (2) お父さんが

第三問 (1) は (2) で (3) に

(4) を(が) (5) て

■配点

- 第一問 各2点 第二問 各2点
- 第三問 各2点

◆解説

第一問 目的語と述語、主語と述語の関係ですが、

意味的にどの組み合わせがいいのかを考えます。

第二問

言葉のつながりは意味から考えます。

- (1) 「大きくて」↓「月が」はつながりません。「大きくて」↓「まるい」です。
- (2) 「わたしの」↓「お父さんが」です。

第三問

助詞の使い方をチェックしましょう。

\*\*\*

《問題Ⅲ》 論理的読解力 (40点)

●解答

第一問 ウ

第二問 水の中にもぐる(こと)。

第三問 うそをついてはいけない(こと)。

第四問 だんごがほしいから。

第五問 一年生たちによびかけられるのがうれしいから。

■配点

第一問 8点 第二問 8点

第三問 8点 第四問 8点

第五問 8点

◆解説

必ず問題文中に答えがありますから、それを探すようにしましょう。

第一問

「池の中にはひよめが五六つぱ」とあります。

第二問

一年生たちが「くぐれ」と歌ったら、「するとひよめは頭からぶくりと水のなかにもぐりました」とあります。

第三問

学校で、先生は「みなさん、うそをついてはなりません」と教えました。

第四問

「だんごがもらえるのをよろこんでいるようにみえました」とあります。

第五問

本文さいごの一文が答えです。

\*\*\*

《問題Ⅳ》 論理的思考力 (20点)

●解答

第一問 D↓B↓C↓A

第二問

- (1) お庭には花がさいています。(13字)
- (2) ふくを持って行ってください。(14字)

■配点

第一問 8点 第二問 各6点

◆解説

第一問

最初に質問があり(D)、次にその答えが来ます(B)。その理由が、C↓Aです。

第二問

- (1) 主語が「花が」、述語は「さいています」。あとは、どこにさいているかという点、「お庭には」。
- (2) 前半は理由なので、字数条件からはずします。述語が「持って行ってください」で、目的語が「ふくを」。

\*\*\*

《問題Ⅴ》 論理的読解力 (20点)

●解答

第一問

人の気持ちになって考えることができるから。

第二問

- (1) エ (2) イ (3) ア

第三問

やさしい人間

■配点

第一問 7点 第二問 各2点

第三問 7点

◆解説

第一問

最初の文で質問し、次にその答えを書いています。

第二問 (1) 具体例 (2) 逆接

(3) 順接(添加)

第二問

最後の一文に、「大人になっても、人のことを考えられるやさしい人間になれるのです」とあります。

\*\*\*

《問題Ⅵ》 論理的表現力 (20点)

●解答

第一問 (1) 体育 (2) とびばこ

(3) 三 (4) ふえ

第二問 (1) リス (2) 木の実(どんぐり

など) (3) 木

■配点

第一問 各2点 第二問 各4点

◆解説

第一問

絵を客観的に見て、それを文にしていく能力を試します。

(1) とびばこの絵から、「体育」だと分かれます。

(2) とんでいるのは、「とびばこ」です。

(3) とびばこに書いてある1・2・3という数字に注目します。

(4) 先生がふいているのは、「ふえ」です。

第二問

一文の要点は主語と述語、目的語ですが、それにかぎりの言葉がついて、文がしだいに複雑になっていくことを理解していきましよう。

(1) 主語はリスです。

(2) リスが持っているのは、「木の実」です。

(3) リスがいる場所は「木」の上です。